

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 24 年度

事業所番号	2790900084		
法人名	社会福祉法人 香西会		
事業所名	グループホームティアラ		
所在地	高槻市大冠町2丁目19番1号		
自己評価作成日	平成 25年 2月 4日	評価結果市町村受理日	平成 25年 3月 19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosvCd=2790900084-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 25年 2月 21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高槻市の中でも閑静な地域に位置し、南向きの広い窓から太陽が降り注ぐ明るいホームです。大きな窓やテラスを活用して、夏にはグリーンカーテンを作ったり、プランターで花を育てたりしています。犬を飼っており、散歩の時間が地域の方々との交流の時間にもなっています。皆さんから声をかけて頂け、地域に馴染んできたことが実感できます。定期的に来て下さるボランティアさんは地域の方からのお申し出がほとんどで、入居の方の楽しみの多様化が図れています。今年度は「行きたいところに行く」とことと、機能訓練士を確保しての身体機能の維持向上に力点を置いて活動してきました。ご家族からもご好評をいただいています。今後はご利用者様、ご家族様、小規模多機能と協働しての「地域貢献」ができるグループホームを目指していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

社会福祉法人が運営するグループホームで小規模多機能型居宅介護事業所を併設しています。淀川の堤防に近く、農家や田畑もある緑に恵まれたのどかな地域にあるホームは、親しみやすい民家風平屋建てとなっています。地域の理解と協力を得て、日常的な交流が図られています。利用者は緑に恵まれたのどかな地域での散歩や買物を楽しみ、ゆったりとした大風呂で「毎月の変り風呂」を楽しみ、訪れるボランティアと手芸や楽器演奏、フラワーアレンジメントなどを楽しみ、地域の発表会に出演するのを楽しみにコーラス部を結成して練習するなど、笑顔のある生き活きとした生活を送っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業開始前に、職員同士で話し合い作成した理念を掲げ、みやすい場所に掲示して常に共有を図っています。また新人研修時に理念に対する教育を職員が交代で行い、常に意識を持てるようにしています。毎年実施する基礎研修で、理念の実践について振り返りを行っています。ご利用者様のプランに理念を取り入れ、ケアを実践しています。	「あなたが主役の生き生き生活・家族と歩む安心ケア・誰もがくつろげるほのぼの縁側」を理念と定め、明示しています。定例のティアラ会議やグループホーム会議、3つの委員会、研修会、毎日の業務等を通じて職員と方針を共有し、介護サービスに反映させ、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう、家族、地域の方と共に支えています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の方とのなじみの関係は深まっており、近所の公園に散歩に来られる方にも気軽に立ち寄って頂けるようになりました。地域行事への参加とともにティアラでのお祭りには近隣の方を招待しています。柚子湯用の柚子をいただいたり、季節のお花を頂いたりすることも増えてきました。また、レクリエーションに携わるボランティアさんは、いずれも地域の方から声をかけて下さったのが御縁です。今年5月には5周年を迎える為、地域の方々への感謝をこめて、大きなイベントを開催したいと考えています。加えて、地域の掃除や介護セミナーの開催により、地域に貢献するティアラを目指したいと考えています。12月には口腔ケアセミナーを開催しましたが、近隣の方にはご参加頂く事ができませんでした。今後は地域の方の希望を踏まえて、地域ぐるみで介護力アップが図っていけるようにしたいと考えています。今年1月には大塚保育園から園児さんにお遊戯に来て頂く予定でしたが、感染症対策から中止となってしまいました。春までに実現できるようご相談しているところです。	地域の理解と協力を得て、日常的な交流が図られています。利用者は、地域の公園の清掃活動に参加したり、小学校の運動会や老人会の演芸大会・カラオケ大会に招かれたり、次回の大会に出演要請を受け、ホームでコーラス部を結成して練習を始めるなど緊密な交流をしています。また、利用者は夏祭りに招待した地域の人と交流し、訪れる多くのボランティアと一緒に押し花や折り紙、三味線、ハーモニカ、音楽療法、アロママッサージ、バルーンリハビリ、フラワーアレンジメント等を楽しんでいます。中学生の体験学習を受け入れています。近々、近隣の保育園児との交流を予定しています。また職員は、地域住民を対象に「認知症の介護」についての勉強会を実施する予定です。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の公園や墓の掃除に職員が参加しています。施設前の公園掃除には、出来る限りご利用者と共に参加するよう心がけています。介護保険の施設であることを強みに、独居老人の集いで介護保険の説明を行ったことがあります。また、季節の行事や記念行事には地域の方に参加頂いて認知症高齢者とふれあい、理解していただく場を設けています。</p> <p>クリスマスイルミネーションは年々アイテムを増やして、夜道を明るく照らしています。犬の散歩も地域の方々とのかけ橋となっています。今後の目標としていた、地域の方への介護に関する研修会については、老人会と協働して実施していく考えです。その中で、今年度機能訓練士を中心に考案した「ティアラ体操(365歩のマーチ)も普及させ、地域の健康増進に役立てていきたいと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者およびその家族の参加が得られており、地域と利用者の関係作りに役立ててもらうことができます。運営推進会議を通じて、近隣の民生委員さんに消防訓練に参加頂いたことがあります。また、運営推進会議と「はっぴーになる歯のはなし」と題した口腔ケアの講習会を行いました。残念ながら地域からの参加者を得る事ができませんでした。地域の方の興味やアピールの方法を検討し直し、再度チャレンジしたいと考えています。</p>	<p>運営推進会議は、地域包括支援センター職員、自治会会長、民生委員、利用者、家族の参加のもと、おおむね年6回のペースで開催しています。会議では、利用者の状況や事業所の活動状況、行事、災害対策、消防避難訓練、地域との交流等について説明し、事業所運営の課題や、より深い地域との交流の仕方などについて話し合っています。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事業活動の中から発生した質問、疑問については常に市町村担当者に相談し、問題提起をおこなうことから、市町村と足並みをそろえてニーズに対応できるようはかっています。</p>	<p>市の担当職員とは報告や相談、情報交換に努め、協力関係を築いています。地域包括支援センターとも情報交換を行い、利用者の紹介を受けることもあります。市の研修会や地域密着型事業者連絡会、ケアマネジャー連絡会にも参加しています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「香西会は身体拘束・虐待をしないことを誓います」と誓いのことばを掲げ、新人研修や内部研修(基礎研修)の実施により徹底して身体拘束をしない介護に取り組んでいます。出入り口には施錠せずに利用者が自由に移動できるようにしている為、安全性については職員の連携教育により確保に努めています。</p> <p>認知症重度で、大声や介護に対する拒否があっても、精神科医と連携して安定剤系のお薬は減らせるような努力を介護職員と看護職員が考えて実施しています。</p>	<p>身体拘束のないケアに取り組んでいます。以前、帰宅願望のある利用者が一人でホームを離れたことがあり、多数の職員が捜索した経験から、チャイムや庭の柵を増設して、見守り体制を強化することで対応し、その後も日中の時間帯は玄関扉を開錠しています。また、外出願望のある利用者については、見守りと付き添いで対応しています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>新人研修で実施しています。また、現職員に対しても、集団研修及び定期的な内部研修(基礎研修)の実施や新人教育時の講師を行うことで継続的な啓発に努めています。</p> <p>全体会議で取り上げられた虐待のケースについて毎日のミーティングで話し合うなど、事例から学ぶ機会も散発的に儲けました。これらの努力を定期的に行っていけるようにしたいと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者の中に成年後見制度を活用している方がいたので、後見人選定の過程や、後見人がついた時に失われる本人の権利などを実地で学ぶことができました。後見人本人と話すことにより権利擁護に対する理解を深めることができたと考えます。改めて勉強会などの場も持ちたいと考えています。</p> <p>成年後見制度により選挙権を失われた方が訴訟を起こしたニュースなどを題材に、職員と話し合いの機会を持ち、権利擁護についての勉強の一助としたいと考えています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族、利用者と契約を締結・解約する際には丁寧な説明を行い、疑問点には全てこたえ、納得の上契約・解約頂くようにしています。利用開始後に発生した疑問についても遠慮なく質問するよう必ず伝えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議は利用者とその家族を固定せずに、交代で参加してもらえ、利用者からの意見が偏ったものにならないよう工夫しています。家族が意見を言いやすいようこまめな連絡を行い、利用者ノートを作り、家族からの意見や質問が職員に周知できる体制をとり、毎日のミーティングの場でも共有するよう努めています。行事のお知らせをする際には前月のご本人の様子やトピックスを書いた手紙を添付し、定期的な報告を行っています。消耗品の購入をご家族に依頼する時にも、事務的な会話にとどめず、様子を伝えたりご家族の体調をお尋ねしたり、ご意見を伺ったりしています。電話を切る際には「何かあればいつでも電話してください」と付け加えるようにしています。さらに、入口には意見収集箱を設けています。	家族とは、面会時に利用者の生活状況や連絡事項を伝え、健康や安全に関わる事項については、その都度家族へ電話で報告しています。毎月利用者の生活状況や健康状態、行事予定など、家族への連絡事項を書いた便りを送付しています。また、介護計画の変更についてもサービス担当者会議で家族と話し合っています。	今後、より一層家族との相互理解を深め、良好な関係を築くため、家族との会話の機会を増やすよう検討することが期待されます。例えば、運営推進会議の家族の参加枠を拡げる等、家族が意見や要望を述べる機会を更に増やしてははいかがでしょうか。最近では新規の利用者も多いことから、家族会を開催して、介護保険制度の仕組みやかかりつけ医による訪問診療、医療情報の伝達方法など、家族へ説明をされてははいかがでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人の全体会議を通じて管理者と開設者が意見を交換する場を設け、それをティアラ会議にて各主任に伝える双方向の仕組みをとっています。管理者は他職員との意見交換を日常的に行えるよう環境整備に努めています。日常的なケアや対話の中から、職員のアイデアを拾い、開設者に相談できる体制を整えています。協議書、小額物品購入伺、稟議書などの書式が統一され、さらに現場からの意向を本部に伝えやすくなりました。	職員は、定例のティアラ会議やグループホーム会議、3つの委員会、研修会、毎日の業務等を通じて意見や提案をする機会があります。キャリアパス制度を新設し、職員が委員会活動や担当する利用者のケースで成果を挙げた場合、認定される仕組みができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	平成24年4月からキャリアパス制度を導入しました。平成23年度中に設定した事業所の目標にむかって、全員が一致協力してとりくみ、その評価が冬季賞与に反映されるという体験は今期初めてとなりました。利用者からの評価、法人からの評価が職員のモチベーションとなるように、この制度を活用していきたいと考えています。ひいてはケアの質が向上するよう努めていきます。 職員が、資格取得のための研修を施設の補助で受けられるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画を作成し、資格取得に向けた体制をつくっており、スキルアップを奨励しています。職員から行きたい研修を管理者に相談できるように常に研修の情報を職員入口に掲示しています。管理者はすべての職員が平等に研修を受けられるように配慮しています。研修に行った職員は研修報告書を作成し、内容をすべての職員に周知できる体制をとっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市町村が行う研修会やケアマネ連絡会に参加しています。</p> <p>今後は隣町にできた小規模多機能ホームとの交流ができないか検討しています。</p> <p>ー昨年に新設されたグループホームから、開設時のお祭りや餅つき行事に招いていただいた後も、情報交換や相談を継続しており、今後もこのつながりを大切にしていきたいと思います。</p> <p>今年はティアラ5周年の記念行事も行う予定ですので、他のグループホームの方々を招待できないかと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に、家族や担当ケアマネージャーからの相談受付だけでなく、必ず本人と面談し、家族の意向と本人の意向の調整をはかりながら本人が納得してサービスを受けられるよう努力しています。また、ケアマネージャー以外のスタッフも面接に同行し、医療管理が必要な利用者には看護師も面談に参加しています。収集した情報は、ご本人入居前に往診医にも届け、ご家族・ご本人が安心してグループホームでの生活を開始できるようにしています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族からは、本人の耳には入れたくない事情などの相談もあるため、その都度個別対応するなどの配慮をしています。家族と本人との信頼関係が悪化しないよう、本人への説明内容なども充分配慮しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス導入前にご本人やご家族と面談する際には出来る限り二人以上で面談し、その時希望している支援が何なのか多角的に質問や意見聴取ができるようにしています。ご本人利用前に面談した内容を職員に周知し、不足している情報などを挙げてもらい、情報に肉付けをするようにしています。</p> <p>入院先からのご入居の場合には、入院先の主治医やMSWさん、看護職、リハビリ担当者、ご本人、ご家族を交えてのカンファレンスを可能な限り設けていただき、環境の変化を伴う移転のため、認知症への悪影響も可能性として考えられることなど、リスクも含めて相談し、対応も考えた上でご入居いただいています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に食事したりレクリエーションをしたりしながら、お互いが双方向的な関係であることを意識できる空間を大切にしています。その人らしさを見つけ、生活の中で役割を担ってもらうと同時に、利用者ノートの活用により職員に周知徹底できるようにしています。一人ひとりが持つておられる能力を発揮していただき、どんなに小さなことでもご本人の努力に対して感謝の気持ちを伝えるよう心がけています。介護度が上がった方については、「話せる」「笑える」といった力も評価し、必ず対話して言葉や笑顔を引き出す努力をしています。重度の方については「食べる」力を活かしていただき、少しでも独力のできることを大切にしています。このことを実施するため、個人個人の得意なことや好きな事、逆に苦手な事をリサーチし、その方にあつた毎日の日課を持っていただいて共に暮らし支えています。最近では、洗濯、炊事、テーブル拭き、手すり拭きなど、それぞれがご自身の役割を認識し、時間がくると「洗濯物はまだ乾いてない？」と声を出していただけるようになりました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外泊をされるご家族には「利用者ノート」や直近の生活の様子をお伝えする書面をお渡しすることにより、流れとしてのご本人の生活を家族とともに支援するよう努めています。直近では年末に一泊で温泉旅行に行かれたご利用様がスムーズに外出できるよう、排便・内服薬・食事の様子などについて事前に綿密に家族と情報交換を行って出かけていただきました。毎月行事予定のアンケートと同時に一か月のご利用者の様子を報告しています。ご家族が来所された時には声をかけ、現状の報告と同時にご家族からのご意見や要望、生活歴、好きな事、好きな物などをお聞きして、ケアや日課を考える上でのヒントにしています。病院への受診の協力もご家族から得られています。ご家族の面会は多く、気軽に出入りしていただけるグループホームになっていると考えます。職員は常にご家族の健康状態や闘病の状態についても日常会話の中から情報を得て、ご家族の体調を気遣う言葉かけをするよう心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族には、面会や見学はいつでも可能であることを伝え、親類や友人が訪ねて来てもらえるようにしています。個室が比較的大きいことを活かして、ご本人のお部屋に親戚一同が集まられたこともあります。</p> <p>また、地域密着の強みを活かし、買い物の際に、ご本人が住んでいた住宅の近辺のスーパーに行って一緒に買い物をし、なじみの関係が継続するように図っている事例があります。以前お住まいだった家やご自宅のある町内を歩いて外出して昔を回想していただき、思い出を語っていただくこともあります。ご本人から懐かしい思いや安心感を感じる事ができています。</p>	<p>利用者を訪ねてくる近隣に住む知人との面会や、馴染みのスーパーに行くこと、以前に住んでいた地区や家の前まで行く等の支援をしています。また、読書が好きな利用者と図書館に行く支援もしており、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支えています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>同じホーム内および隣接する小規模多機能ホームの利用者との交流を行い、フラワーアレンジメントや押し花教室を開催し、同じ目的をもって活動に取り組み、ともに何かを作る喜びを支援しています。毎週日曜日にはタオル体操・ラジオ体操を小規模のご利用者様と共に行い、水曜日にはティアラオリジナルのリハビリ体操を共に行っています。年間行事計画の中に、合同行事をもちこむことによって、同じ季節感を味わいながら多数の利用者と交流を持てるように配慮しています。</p> <p>小さなホームでもご利用者様のADLや認知症高齢者の自立度も様々ではありますが、お互いがお互いを思いやりながら過ごしていただくことができおり、たとえば軽度の方が重度の方に食事用のエプロンをつけて差し上げる姿が見られます。加えて、重度の方と共に体操をしていると、共に楽しみ支援をするために軽度の方が傍に来て一緒に取り組んでくださることもあります。誕生月のご利用者様のためにお誕生会を開き、手作りのおやつで共に祝いあっています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用終了後も、その後の経過を尋ねたり、相談をいただいたりといった関係を継続しています。退所後亡くなられたとのお知らせをいただき、ご仏前にお参りさせていただいた方があります。その際には支援をされていたご家族のお話を時間をかけて伺い、思い出を共有する時間を設ける事ができました。</p> <p>退所して有料老人ホームに移られた方のご家族に許可をいただき、面会に訪問させていただいたこともあります。また、ティアラから入院後胃ろうを増設され、療養型のホームに入られた方のご家族は、街中で職員を呼び止めてくださり「実は母が亡くなりました」とお知らせくださいました。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	プラン更新時には、まず本人の意向をきき、反映しています。本人の意向を尊重する上で、家族の協力が必要な場合には調整を図っています。また、本人の意向だけを尊重すると危険が伴う場合には、本人が納得できる説明を行うとともに、実現のための方向性を模索しています。認知症で意向を正確に伝えにくい方については、傾聴につとめ、その時の気持ちをくんだ対応を行っています。ご入居前もご入居されてからも、ご本人の生活歴や趣味、好みをご本人やご家族からお聞きし、情報の肉付けを行い、入所してもこれまでの生活の流れが途切れないよう配慮しています	利用者の何気ない言葉や仕草からゴルフが好きなことがわかり、ゴルフ雑誌やテレビ中継等、ゴルフに関する内容を支援することで熱中するようになった事例があります。また、元教師の利用者は、読書を好み図書館に通うことになった事例等、職員が利用者の気持ちを汲み取った支援を行い、利用者ノートにも記載しています。その他、洗濯や米とぎを専属で取り組む利用者や、職員が帰宅願望で荷造りをする利用者を手伝いながら見守りを続けるうちに、利用者が気持ちを和らげるようになり、荷造りする回数が減った等の事例があります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメント時に、本人や家族の言葉としてこれまでの暮らしを教えてください。居宅や地域包括のケアマネージャーさんからも在宅時のプランなどの情報をいただいています。また、サービス利用中も世間話として昔のことや趣味のことなども話題にし、情報の肉付けを行っています。通院にご家族と同行して、ご本人の歴史についてお聞きしたこともあります。得られた情報は職員に周知してケアに活かせる工夫をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<p>ご本人の生活のペースを把握し、快適に過ごしていただけるように努めています。朝が弱い方には他の方よりも遅くお声かけしたり、早朝に目覚める方については早く声かけしたりしています。</p> <p>ADL低下のためご自分で動きにくく介助が必要になった方にも、少しでもご本人に安楽に動作をしていただくために、機能訓練士が週1回のペースでご本人のトレーニングを行っています。また、毎日の継続した運動が必要な方については、介護職や看護師がその方法を学び、運動を実施する事によって動作能力が向上した事例があります。継続するためにスタンプカードを設け、規定回数が満たされればご本人が希望する図書館にお連れするなど、目標を設定してとりこんでいただき、運動嫌いの方にも歩行訓練を継続していただく、歩けるという現状を維持しているケースもあります。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>会議を定期的に関くほかに担当者が中心となって本人の意向をきいたり、家族の面会時や電話などで積極的に会話をし、家族と共に介護計画を作成しています。連絡ノートや利用者ノートを活用することにより、職員同士でもアイデアや意見が言えるようにしています。</p> <p>昨年度はご家族参加の調理行事を敬老会として実施し、ご本人の現状を見ていただいて、意見をつのることもできました。今年度はのど自慢大会を開催してご家族に参加頂いています。ご家族同士の交流や、新たな取り組みの中で、ご本人についての思わぬ発見ができることもわかってきました。今後ご家族参加の行事を継続して行いたいと考えています。</p> <p>来年度はティアラの5周年記念行事を行う予定です。あらたまった式典も行いたいと考えており、またいつもと違った表情のご利用者様、ご家族様を発見できる事を期待しています。</p>	<p>介護計画は6ヵ月毎に、また状態の変化がある時はその都度、見直しを行っています。介護計画には、職員として配置する機能訓練士が、個別でトレーニングを実施することも含んでいます。職員は介護計画の支援内容を「ケアプラン実行評価表」で毎日モニタリングしています。毎月のカンファレンスで話し合い、3ヵ月毎に計画作成担当者がモニタリングを実施して、家族も参加するサービス担当者会議を開き、介護計画の見直しにつなげています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや健康チェック表、利用者ノート、毎日のミーティングの場を利用しながら、会議以外でもいつでもアイデアや意見を記入することで情報を共有しています。ケアプランの実施表を設け、毎日のプラン実施状況を記載しています。また、毎日の個別の記録書式を見直して、毎日の変化を効率よく記録できるようになりました。これらの書式は香西会として法人内入所系サービスで統一し、さらに効率よく必要な情報を的確に記録できるよう工夫を重ねていくところです。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設している小規模多機能ホームと合同イベントを行うことにより、施設内においても「おでかけ」の感覚で小規模多機能まで出かけて楽しんでいます。ほかに、外出行事を定期的に行っています。糖尿病で運動の必要な方については、楽しんで続けていただけるよう、歩いたぶんだけスタンプを押して、規定回数に到達したら図書館に行くという楽しみをもって継続できるようにしています。食べることが困難になり、医療が必要となった方については、ご家族と共に受け入れ先を探し、ご本人の生活が継続できるようにしたケースもあります。また、機能訓練士により拘縮予防の運動を個別に実施しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域からボランティアでさまざまなレクリエーションの提供に来てもらっています。押し花、バルーンリハビリ、音楽療法、フラワーアレンジメント、ハーモニカ、三味線、アロママッサージ、折り紙、ちぎり絵など、いずれもボランティア側から申し出があり実施していただいています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者の疾病や専門医による診察の必要性に応じて受診ができるようにしています。看護職を介在させることによって、医師への連携がスムーズに行えるようにしています。日常的な医療管理については、往診により受診して、いつでも相談や連携が行えるようにしています。他科に受診する際にも、主治医に紹介状を作成していただき、スムーズに受診できています。異常を早期発見することにもつながっています。精神科の往診にも来ていただき、精神面からの安定も図れています。	利用者全員が、協力医療機関のかかりつけ医による月2回の往診を受けています。また、かかりつけ歯科医の往診も受けています。協力医療機関と連携し、夜間や緊急時の対応についても体制を整備しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康チェック表や申し送りを中心に、看護師と職員が連携をとるようにしています。少しの変化でもすぐに相談ができる体制をとることができています。また、日常のケアの中で、健康面で少しでも疑問に感じた事や異変ではないかと思ったことについては、いつでも看護師に連絡をとって指示を仰いでいます。日々しっかりと健康状態を観察し、看護師の出勤日には申し送り簿、利用者ノート、口頭で報告が伝わるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時にはすぐに利用者の日常の状態を病院に伝えられるように、ケア手順書や看護サマリーを整えており、適宜見直しをしています。入院時には定期的に本人を見舞い、不安を減らす支援をすると共に、家族とも連絡をとりあい、病院内での様子や変化、退院の見通しなどについて情報を得るようにしています。また、退院前にカンファレンスを持ってもらうようソーシャルワーカーなどに働きかけています。カンファレンスにはできるだけ看護職も参加するようにしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合における対応に係る指針を設定しており、契約時から、終末期について家族に意向を確認し、書面で保存しています。本人の状態が変化した場合には、あらためて家族の意向をきくようにしています。看護職員を配置し、かかりつけ医との連携を強化しています。医師からは、「夜中でもなんでも、おかしいと思ったら私に相談なさいよ」と声をかけて頂いています。</p>	<p>看取りの実績はありませんが、利用者と家族に看取り実施の方針を説明し、同意を得ています。今後、利用者が重度化した場合には、できるだけホームでの生活が続けられるよう、状況の変化とともに、利用者や家族、医師、看護師、職員間で話し合いを行い、方針を共有しながら対応していく予定です。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時の対応は、マニュアルを設けており、研修時に理解するとともに、実践的な訓練を行っています。緊急時には隣接する小規模多機能と連携して事にあたるよう教育を徹底しており、とくに夜間については新人教育時から対応の方法を繰り返し伝えて、職員にも不安がないようにしています。事故発生の場合は事故報告書を作成し、原因究明をきちんと行うことによって、再発の防止に努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練を職員・利用者参加のもとに行い、避難方法や初期消火の方法を身につけています。地域の利用者家族や民生委員とも協力して訓練を行っています。</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災を受け、香西会では拡大安全対策委員会を設け、大規模災害時に備えた対応マニュアルを整備し、備蓄を確保しました。</p>	<p>8月に地域の民生委員や家族の参加を得て、自主的な避難訓練を実施しています。長崎のグループホーム火災事故の直後に、法人内の指導により、全てのコンセントの点検・清掃及び、避難経路の確保状況について自主総点検を実施しています。また、消防関連の設備について、消防署の立入り検査が行われ、年度内には、消防署の指導のもとで避難訓練を実施する予定です。災害時の食料と水の備蓄については、併設の事業所分も合わせて実施しています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	命令・強制・否定ことばの禁止は理念にも掲げており、新人研修でその重要性を学ぶとともに、年2回の全職員を対象とした基礎研修でも再度徹底して人格尊重の教育を行っています。個人情報記載された書類は必ず鍵のかかる場所に保管し、廃棄する場合にはシュレッダーを通してあります。また、介護を行う際には羞恥心に配慮して実施するよう研修などで徹底しています。	職員の言葉かけや態度は明るく、利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシーを損ねないように配慮して、やさしい雰囲気です。職員は、言葉や態度で利用者的人格や誇り、プライバシーを損ねないように、入職時に1か月間、先輩職員よりOJT(On the Job Training)で学んでいます。また、年2回、基礎研修を実施し、繰り返し研鑽に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>今日着たい服や今したいことといった日常生活の細かい部分にも、本人の意向を反映するようにしています。たとえば、お風呂の準備はできるだけご本人にさせていただき、下着や明日着る服などを選んでいただいて、職員が確認をするようにしています。またたとえば、おやつのおやつや飲物はご自分で選んで頂いています。自己決定が難しい利用者には、できるだけたくさんの選択肢が提示できるように、本人の好みやふだんの考え方などを把握しています。また、職員が共に答えを導く努力を行っています。行事で外食を食べる時などは、写真付きのメニューを用意して、ご本人の「わかる力」を活かして自己決定できる工夫をしています。</p> <p>朝ゆっくりと起きる方には遅い時間に朝食がとれるよう時間を融通しています。自己決定と安全・健康のバランスがとれるように配慮しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間などは、本人が守っている生活ペースを尊重していません。例えば朝起きるのが辛い日は、食事廃棄の制限時間までゆっくりと寝坊していただき、一日が気持ちよく過ごせるように配慮しています。ご本人の希望を優先する努力をしていますが、こちらの都合で予定を変更する場合や、利用者のその時の気持ちに合わないことに対しては、本人の事前の納得が得られるよう、十分な説明を行っています。読書が趣味で、本に夢中になり就寝が遅くなりがちな方には、時間を告知したり明日の予定をお伝えする事で就寝していただけるように配慮しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<p>今までの暮らしの情報を把握したことにより、その時々状況にあった服を選んだり、本人がおしゃれ道具や服を使いやすい配置にしたり、いつでもおしゃれが楽しめるように配慮しています。</p> <p>また、家族には事前に行事や本人のおしゃれや整容に対する意向を伝え、家族とともに準備ができるようにしています。行きたい店でカットやパーマができるように援助したり、脚の不自由な利用者が毛染めできるよう手配したりといった実践を行いました。</p> <p>整容のチェック表を新設し、爪切り、耳掃除、髭そりの間隔が空きすぎないように工夫ができました。今後は、高齢者に特有の耳毛や鼻毛を整える工夫をしていきたいと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じ、おしぼりの準備、机拭き、食器拭き、片付けにかかわってもらうようにしています。昨年からは、家事が得意なご利用者様には、清潔に配慮してマスクや手袋、エプロンを着用して頂いた上で、お米とぎや食器洗いを行って頂き、職員が確認するようにしています。食べることが苦痛にならないよう、本人のペースで食べていただき、食べやすい食事形態や食器の工夫を行っています。食の細かい方には、おにぎりをにぎったり、ふりかけをかけたり、盛り付けを工夫したりと、食事が楽しくなるようにしています。行事ごとに鍋パーティーやお好み焼きパーティーを行い、野菜嫌いの方も野菜をたくさん摂取していただくようにしています。自分専用の食器を使うことやランチョンマットを自分で作ることで、食べる楽しみの演出も行っています。一昨年行ったご家族とお好み焼きを焼いて食べた敬老会が大好評であったので、食に関する行事を家族と共に行う機会を設けていきたいと思っております。	食事は、クックチル方式で保存・搬送された調理済みの食材を利用しています。利用者は食事準備、下ごしらえ、米とぎ、盛り付け、後片付けなどの得意な分野で役割をもって参加しています。職員は、利用者と共に同じものを食べながら、楽しい雰囲気づくりに努めています。また、食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをしています。年に数回行事食として鍋やお好み焼き、餃子、すしパーティーを楽しんでいます。今年4月からは、月1回利用者も買物から調理まで参加する「手作りごはんの日」を計画しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>すべての利用者について食札などに食事形態や制限を記載し、誰がどのような形態で摂取するかがわかるようにしています。できるだけ安全に美味しく食べていただけるよう、日々観察を行い、看護師や医師、家族と相談しながら食形態を変更しています。ペースト食からムース食に変更して、より安全な食事の提供ができた事例があります。水分も含め、食事摂取量は一覧できる記録表に残しています。食の細かい方には、盛り付けを工夫したり、ふりかけをかけたりと、食事が楽しくなるようにしています。各利用者の好みを把握して、少しでも水分補給ができるよう努めています。夜間水分補給を自室で行う方についてはペットボトルでお茶を提供し、ボトルが常に清潔なようにこまめに新品に交換しています。お風呂の前には必ず水分をとっていただいています。ムセが見られ始めた方には、原因を考え、ご本人やご家族とよく相談した上で水分にトロミをつけ、安全に摂取していただけるように配慮しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人一人の利用者に応じて、できるだけ本人の力を活かして食後に口腔ケアが行えるようにしています。本人と共に職員が歯磨きをすることにより、たがいに口腔ケアに対する意識を高めています。本人の好みや能力、嚥下のちからに合わせて、それに応じたペーストやブラシ、口腔ケア専用の濡れティッシュを用意しています。夜間口腔内が乾燥する利用者には、専用のガーゼで口腔内を湿らせる対応をしています。希望者には、訪問歯科診療が受けられるように手配しています。口腔ケアについては、歯科医から適宜アドバイスをもらうことができます。今後は口腔内だけでなく、食後の口の周りの清潔や、舌苔へのとりくみなどにも努めたいと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	健康チェック表を活用し、日中夜間の状態に配慮し、かつ本人の身体的・精神的負担を考慮し、本人にふさわしい排泄の方法を家族とともに選定しています。オムツ利用の方については、その方の排泄の量や睡眠状態に応じて、吸収量の違うパッドをご家族と相談の上で用意していただいています。排泄一部介助の方については、起立や移乗、後始末など、ご本人ができることは可能な限り頑張らせていただいております。	排泄の記録をとり、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握しています。声かけや誘導、見守りによる排泄支援を行い、利用者の多くはトイレで排泄ができています。重度の利用者については、パッドの種類を変えるなどして快適さを求める工夫をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師や機能訓練士と連携をとりながら、運動や水分補給を促し、便秘の予防につとめています。排便リズムは健康チェック表に記載して全職員が共有しています。看護職員が排便のない期間を常にチェックし、3日便秘が継続している時点で医師と相談して排便ができるよう、投薬や摘便の指示を受けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	気の合う同士が同じ時間に入浴できる配慮を行っています。また毎月1回、ゆず風呂や菖蒲湯、ハーブ湯など季節感あふれる変わり風呂の入浴時間を提供しています。一方で入浴が高齢者にとって体力を消耗するものであることを全員が理解し、事前のバイタルチェックを欠かさないようにして、血圧や体温に異常がある場合は、看護師の判断により入浴を中止する場合があります。感染症の方は入浴順に配慮して、不公平が出ないように対応しています。	平均して週に3回程度、小規模多機能居宅介護事業所の大風呂でゆったりと入浴をしています。また、お風呂の楽しみをより感じてもらうため、ゆず風呂や菖蒲湯だけでなく季節毎にレモンやハーブ、りんご、かりん、みかんなどの「毎月の変わり風呂」をし、利用者に喜ばれています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	本人の疲れの程度や、本人から の希望に応じて、日中にも時間 を決めて臥床し、休息してもら えるようにしています。医師から 、内科的な疾患に対する負担軽 減の指示があった利用者には、 プランに体位変換を明記したう えで、褥瘡予防に努めながら安 楽に過ごせる支援をしています。 前日の睡眠時間も考慮に入れな がら、臥床する時間の長さを決 めています。夜間眠れない場合 や傾眠が強い場合には、専門 医にも相談できる体制ができて います。夜間頻尿で眠れにくい 方、排泄困難でトイレが長時 間になる方は、主治医を通じて 泌尿器科を紹介していただき、 少しでも眠れるように治療し ていただいています。布団対応に するか、ベッドをご利用になる か、抱き枕が必要かなど寝具に ついては家族と共に考えていま す。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用開始時に服薬説明書を提供してもらい、薬の目的や副作用、用法、用量について看護師を中心として全員が理解するよう努めています。服薬説明書と照合しながら配薬は看護師の手で確実にいき、介護職員はシフトによって服薬に関する役割を決め、必ず提供までに二人以上の職員がチェックできるように配慮しています。服薬チェック表で確実に服薬ができる支援を行っています。</p> <p>嚥下の状態により、薬剤師に依頼して、錠剤を粉碎してもらっています。苦味が服薬を困難にしている利用者については、甘味料をトロミに少し加えて飲みやすくする工夫もしています。食塩を処方されている利用者には、おかゆに混ぜて摂って頂くよう、確実に内服できる工夫をしています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの利用者の能力に応じ、できる家事を割り振って毎日の日課として行ってもらっています。洗濯たたみ、洗濯干し、米とぎ、食器洗い、プランターの水やりはご利用者様の日課となっており、「まだ洗濯乾かんの？」と積極的に取り組んでいただいています。部屋の飾り付けも、こちらから頼むのではなく、職員が行うことで興味を持ってもらい、手伝ってもらっています。今後も、職員がすることを共に行うことで選択肢を増やしたいと考えています。 日々のかかわりのなかで明らかになってくる、ご本人の特技や希望もできるだけ取り入れ、プランの中の目標として取り組めるようにしていきたいと考えます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気やご本人の体調をみながら、近くの公園などに散歩に出かけています。職員が行う買い物の際に、利用者の同行を促し、街並みや商店の雰囲気を楽しんでもらっています。今年度は図書館への外出や、なじみの地域にあるスーパーへの買い物などを行いました。また、近隣の公園や堤防へは、いつでも外出ができるよう支援しています。今後はお誕生日の特別な外出が企画できないかと考えています。定期的に外出行事を行い、レストラン、買物、花見、夏祭りなどを楽しめるよう工夫しています。また、地域の行事などを利用し、外出の機会としています。外出時には風邪などの感染症の予防にも配慮しています。今年やノロウイルスやインフルエンザが猛威をふるっていたため、初詣を中止しました。	職員は外出に力を入れています。淀川の堤防に近く、田畑や公園、お寺、小学校など緑に恵まれたのどかな地域で、日常的に周辺散歩ができています。また、スーパーへ行ったり、図書館や母体法人の夏祭りにも出かけています。初詣や季節の花見、遠足、家族との外食や里帰り、旅行等さまざまな場所へ出かけ、楽しんでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人家族と相談の上、可能な方に対しては自己管理としています。自己管理が困難な方については、限度額を聞いておき、領収証をもって対応しています。行事の際のお小遣いや小銭は、できる限りご本人に持っていただくようにしています。少額の買い物はティアラ内でもできる楽しみを設けています。毎週火曜日に来る移動パン屋さんでの買い物に参加していただき、お金を支払う感覚を思い出していただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個々の要望があれば対応するようにしています。本人ができる部分を見極めて、最小の援助を行うように心がけています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物自体を民家風にし、内部は木のあたたかみを感じられる空間としています。季節ごとに飾り付けを変え、季節感が伝わるように工夫しています。飾り付けの作成には、ご利用者様に参加していただき、つくる段階から季節感を味わっていただけるようにしています。利用者の写真や手芸作品、書道の作品を掲出し、親しみが持てるよう工夫しています。昼食時はテレビを止め、音楽を流して食事に集中できるように配慮するなどの工夫もしています。窓際の共有スペースには、図書コーナーやマッサージコーナー、談話コーナーなどを設け、それぞれが好きな場所で好きなことをして過ごせる空間の演出もしています。小規模多機能ホームを以前ご利用になり、小規模のご利用者様となじみの関係がある方には、好きな時間に小規模を訪問できるよう工夫をしています。	事業所は、淀川の堤防に近く、緑に恵まれたのどかな地域にある民家風の平屋建てで、庭や建屋周辺には、植木や季節の花があり、犬も飼っています。ダイニング・リビングルームは吹き抜け構造で天井も高く、明り取り窓や大きな窓があり、明るくゆったりとしています。季節の風物の絵画やひな人形のタペストリー、利用者が活けた生花、かわいい飾り小物、行事写真、手作り作品が飾られています。廊下の日当たりのいい場所にはソファや椅子が置かれ、マッサージ機や書籍棚もあって、利用者が落ち着ける雰囲気のある居場所となっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼居間の中でも、自分の席、ソファ、台所、職員詰所、上記の各コーナーなど、自分が居たい場所に自由に移動してもらっています。それぞれにお気に入りの場所を確保して過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、早くなじめるように、長年愛用した家具の搬入などをお願いしています。個人の愛用品や、なじみの品は、その都度持ってきていただけるようにしています。ティアラに來られてからの写真はアルバムに整理し、いつでも思い出を振り返ることができるようにしています。 居室の表札には、季節を感じる折り紙作品を飾っています。ぬいぐるみやお人形が大好きなご利用者様には、危険のない範囲で好きなだけ飾って頂けるようにしています。愛用の家具を設置したところ、その上に登るなどの危険な行為があったご利用者様については、ご家族と相談して家具の種類を考えるとともに、なぜ上に登るのかを解析して、危険行為を行わないよう工夫したケースもあります。	窓が大きくて明るく、広くすっきりした居室には、仏壇、飾り棚や椅子、鏡、お気に入りの花瓶、家族の写真、ラジカセ、テレビなど思い思いの物を自由に持ち込んでいます。また、自作の刺繍画や人物画、自分で活けた生花を飾ったり、外出用の洋服を掛けたりする等、個性的に装飾しています。夜遅くまで読書をしたり、塗り絵をしたりする等、居心地の良さそうな居室になっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室掃除を共におこなうことにより、安全性を確かめながら居心地の良い空間をつくりだしています。居室やトイレがわからなくなる方については、名札やトイレの表示を大きく書き出し、本人が安心して使えるようにしています。		